

県内の患者数

矢印は、前週の数に対して 増加 減少 横ばい を表しています。

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	↗ 6	2	百日咳	→ 0	0
RSウイルス感染症	↗ 84	67	ヘルパンギーナ	↗ 8	4
咽頭結膜熱	↘ 3	5	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	↗ 77	58
A群溶血性連鎖球菌 咽頭炎	↗ 82	70	急性出血性結膜炎	→ 0	0
感染性胃腸炎	↗ 367	304	流行性角結膜炎 (はやり目)	→ 9	9
水痘	↗ 67	64	細菌性髄膜炎	↘ 0	2
手足口病	→ 2	3	無菌性髄膜炎	→ 0	0
伝染性紅斑 (りんご病)	↗ 6	3	マイコプラズマ肺炎	↘ 7	9
突発性発しん	↗ 38	30	クラミジア肺炎	→ 0	0

報告が多い
感染症

- 感染性胃腸炎
- RSウイルス感染症
- A群溶血性連鎖球菌咽頭炎

- 感染性胃腸炎は、報告数 367件(前週報告数 304件)と増加。地区別では、有明、八代、宇城に多く報告がみられる。年齢別では、2歳の 52件を最多に幅広い年齢層から報告されている。
- RSウイルス感染症は、報告数 84件(前週報告数 67件)と増加。地区別では、八代、天草、宇城に多く報告がみられる。年齢別では、1歳の 36件を最多に、4歳以下からの報告である。
- A群溶血性連鎖球菌咽頭炎は、報告数 82件(前週報告数 70件)と増加。地区別では、菊池、熊本に多く報告がみられる。年齢別では、4歳及び6歳の13件を最多に10~14歳以下からの報告である。

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血 性レンサ球 菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパ ンギーナ	流行性 耳下腺炎	急性出 血性結 膜炎	流行性 角結膜 炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコプラ ズマ肺炎	クラミジ ア肺炎
熊本市保健所	4	33	1	43	84	22	0	4	13	0	0	21		9				4
山鹿保健所	0	0	0	0	21	4	0	0	3	0	0	0	*	*				
菊池保健所	0	10	2	11	16	15	0	0	5	0	1	20						
阿蘇保健所	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	*	*				
御船保健所	0	0	0	0	7	1	0	0	0	0	0	0	*	*				
八代保健所	0	16	0	8	61	1	0	0	1	0	0	5						
水俣保健所	0	0	0	0	5	0	0	0	1	0	0	3	*	*				
人吉保健所	1	3	0	6	16	3	0	0	3	0	0	2	*	*				2
有明保健所	0	0	0	0	93	13	0	1	1	0	0	16						1
宇城保健所	1	9	0	6	39	3	0	0	8	0	0	2						
天草保健所	0	13	0	8	24	5	2	0	3	0	7	8						
計	6	84	3	82	367	67	2	6	38	0	8	77	0	9	0	0	7	0

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0~5ヶ月	6~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳以上	
インフルエンザ	6									1	2					1	1	1				
小児科定点年齢	合計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以上							
RSウイルス感染症	84	16	20	36	9	2	1															
咽頭結膜熱	3				2	1																
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	82		1	4	5	2	13	11	13	10	7	4	12									
感染性胃腸炎	367	6	28	46	52	43	36	34	15	23	13	15	27	7	22							
水痘	67		3	17	10	8	9	6	5	1	3	1	1	1	2							
手足口病	2		1			1																
伝染性紅斑	6			1				1		2	1		1									
突発性発しん	38	1	17	19	1																	
百日咳	0																					
ヘルパンギーナ	8		1	3	1	1		1			1											
流行性耳下腺炎	77			6	6	12	10	15	14	2	3	5	4									
眼科定点年齢区分	合計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上		
急性出血性結膜炎	0																					
流行性角結膜炎	9															4	2			1	2	
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上					
細菌性髄膜炎	0																					
無菌性髄膜炎	0																					
マイコプラズマ肺炎	7		2	3	1		1															
クラミジア肺炎	0																					

大きな流行が発生
又は継続しつつある地域

ありませんでした。

感染性胃腸炎



今週の感染性胃腸炎の報告数は、先週より63件増え367件でした。特に、県内の4地域(有明、宇城、八代、山鹿)では、報告数が増加、今後、全県的に注意が必要です。感染性胃腸炎の原因には様々なウイルス、細菌などがあります。症状は、原因となる病原体や患者の状態により異なりますが、発熱、下痢、吐き気、嘔吐、腹痛などがあります。子供の場合、元気がなかったり、不機嫌な状態が続く時はすぐに受診してください。家庭では脱水を起こさないよう、水分補給に努めましょう。これからの季節はウイルスを原因とするものが増加します。中でも特にノロウイルスの感染力はきわめて強く、医療機関や社会福祉施設、学校など集団生活の場で流行を起こすことがあります。家庭においても部屋の換気やうがい・手洗いなどの感染予防対策に努めましょう。



KKT 医療ナビ! Dr. テレビたん

<http://www.dr-tvtan.jp/>

情報提供：熊本県健康福祉部 健康危機管理課